

多様化する時代

校長 難波 繁之

大量消費・大量生産の時代から個性を大事にする選択消費・多品種少量生産の時代が到来してかなりの時が過ぎた現代、我々日本人は多様化ということについてももう少し考える必要がありそうです。

オムニチャネルという言葉を知っていますか？リアル店舗やオンラインストアをはじめとする多様な販売チャネルや流通チャネルを統合することなのです。つまり、流通の多様化の最前線なのです。オムニチャネルでは、リアル店舗、オンラインストアなどの通販サイト、自社サイト、テレビ通販、カタログ通販、ダイレクトメール、ソーシャルメディアなど、あらゆる場面で商品を注文・購入できるということやウェブ上で注文して店舗で受け取ったり、店舗で在庫がなかった商品をにオンラインで取り寄せたりできるのです。

これらは、ネット環境の発達やモバイル端末（スマホやタブレット）の普及率が上昇して、既存の百貨店やスーパーマーケット、小売店に買い物をするから、24時間、リアルタイムで、消費者が自分の好みに合わせた多様な購買活動ができるようになることなのです。

この他にも多様化している事象がたくさん出現してきています。電力小売りの自由化で電力会社の選択の多様化や携帯電話会社の契約の多様化等、様々な選択を迫られているのが現代人なのです。これらの選択を確実にこなすためには、それなりの能力を養う必要があります。それは、情報を確実に取捨選択する能力、最良のものを選択する判断力、得られたものを最適に活用する能力等がそうであります。

そこで、これらの社会生活を快適に充実したものにするためには、一番には教育による能力の涵養が必須だと思います。画一化された教育、一斉授業ではなく、個人が個々に必要としている能力を効率的にオーダーメイドで教授する授業がこれから求められていくと考えます。それが「アダプティブ・ラーニング」です。生徒個人の能力を見定め、その能力のレベルをビッグデータ化し、将来に向けて目標とされる到達点、つまり求められる能力に向けて適切な教育を施すことが今後の課題となるでしょう。

本校も優秀な生徒が入学してきています。その能力を入学時から卒業までの間に、現代社会が要求している様々な能力を育て、社会に送り出すのが使命と考えております。人間を作る・育てること、つまり「人間力」の向上が本校の目標と思います。

多様化した現代を悠々と渡り歩ける人間力を育成する学校になるために、日々「学校力」の向上と精進を目指すことをお約束し、校長の挨拶とします。